

学校だより
第6号

椎の木



平成28年10月4日発行
流山市立東部中学校

東部中学校教育目標

「笑顔・熱中・思いやり、そして命を大切に」

おめでとう

優勝 青組 応援賞 白組
準優勝 赤組



○スローガン「百花繚乱 ～この戦いを歴史に刻め～」

9月24日(土)に第50回体育祭が行われました。台風の影響で雨が多く、室内での練習が多くなりましたが、生徒達は競技に演技にすばらしい力を発揮しました。5色が切磋琢磨し合って作り上げた応援、丁寧にバトンをつないだりレー、学級対抗で行う団体競技、全校男子、全校女子が一緒に行う競技や演技など、様々な場面で、学級で団結する姿、仲間を一生懸命に応援する姿が見られました。団長や3年生、そして応援団のがんばりが、1、2年生をリードし、感動のある素晴らしい体育祭となりました。また、開閉会式をはじめ、様々な場面で体育祭を支えてくれた生徒会、各係生徒の活躍も光りました。

体育祭当日や当日までの体育祭の練習にご理解・ご協力いただきました地域の皆様、また当日ご来場いただきました保護者の皆様、ご来賓はじめ地域の皆様、ありがとうございます。



各色を引っ張ってくれた応援団長・副団長

赤組 団長 久米田蓮君	副団長 遠藤茜音さん
白組 団長 塚越一登君	副団長 石崎彩華さん
黄組 団長 牧島克恭君	副団長 阿部莉々香さん
緑組 団長 小林慈大君	副団長 菅野真子さん
青組 団長 横枕泰地君	副団長 皆川洋香さん



生徒会役員改選

【新生徒会役員】
 会長 長井元輝(2-4)
 副会長 小島亜子(2-4)
 今福帆波(1-5)
 運営委員 金久保柚葉(2-1)
 小貫颯太(2-5)
 佐藤 葵(2-6)
 山崎陽菜(1-4)

9月30日に立会演説会、投票が行われ、2年生を中心とした新生徒会のメンバーが決定しました。一人一人の演説には、東部中学校をよりよい学校にしていこうという熱い思いが込められていました。

椎木祭・合唱コンクールまであと一か月を切りました。3年生の生徒会メンバーとともに活動しながら、様々なことを学び、50年の伝統を引き継ぎながら、新しいリーダーとして成長して欲しいと思います

椎木祭・合唱コンクール

保護者の皆様、地域の皆様、ぜひ、ご来場ください。

来たる10月29日(土)本校体育館において、椎木祭・合唱コンクールが行われます。椎木祭は東部中学校の文化祭です。科学部の実験や発表は毎年趣向を凝らしあっと驚く工夫があります。美術部の発表は美術、映像、演劇と総合芸術といえるメッセージ性のある発表が観客の心をひきつけます。吹奏楽部の演奏は会場全体を一つにし、時間を忘れる楽しい発表です。また、流山市青少年主張大会や葛北地区英語発表会出場者の発表など、日頃の学習成果を披露する場面もあります。

10:50からは合唱コンクールです。生徒達は、この日のために、笑いあり涙ありでクラス一丸となって合唱を作り上げます。生徒達の本気の姿をぜひ、ご覧ください。

8:25～ オープニング開始
 8:45～10:30 科学・美術・青少年の主張・英語スピーチ、吹奏楽部
 10:50～11:45 合唱コンクール開会式、1年生の部
 12:45～14:20 合唱コンクール2年生の部・3年生の部
 14:35～ 合唱コンクール閉会式
 15:00～ エンディング

平成28年度 東部地区中学校地域合同防災訓練

期日：10月22日(土)
今年度は東部中会場に地域の方々を中心となって防災訓練を実施します。生徒の参加も呼び掛けています。今年度は瓦礫や土砂の中から人を救出する場面など新たな企画もあるようです。保護者の皆様も各自治会より、ぜひご参加ください。

東葛飾地方中学校駅伝競走大会

期日：10月15日(土)
今年で70回目を迎える伝統の東葛駅伝大会が開催されます。今校庭には各学年で作成された色鮮やかな横断幕を掲げ、全校で応援しています。10時に松戸市民劇場を出発し、12時ごろゴールである野田市陸上競技場に到着する予定です。当日は全校応援を予定しています。

※ご来校の際、手話通訳、車いす介助等が必要な場合は、お申し出ください。

10月の主な予定

<10月>		
4日(火)	テスト前部活停止期間～7日朝	14日(金) 評議委員会 専門委員会 6委員会
5日(水)	集金日 葛北駅伝大会	15日(土) 東葛駅伝全校応援
7日(金)	中間テスト 英語検定	17日(月) 代休
11日(火)	3年実力テスト 校内研修会	20日(木) 市内小中学校音楽発表会
12日(水)	歯周疾患テスト(1年) 駅伝激励会	21日(金) 拡大評議委員会 漢字検定
13日(木)	小中連携挨拶運動 合同高校説明会 進路保護者会	22日(土) 学校地域合同防災訓練
		29日(土) 椎木祭・合唱コンクール
		31日(月) 代休

全国学力学習状況調査の結果から

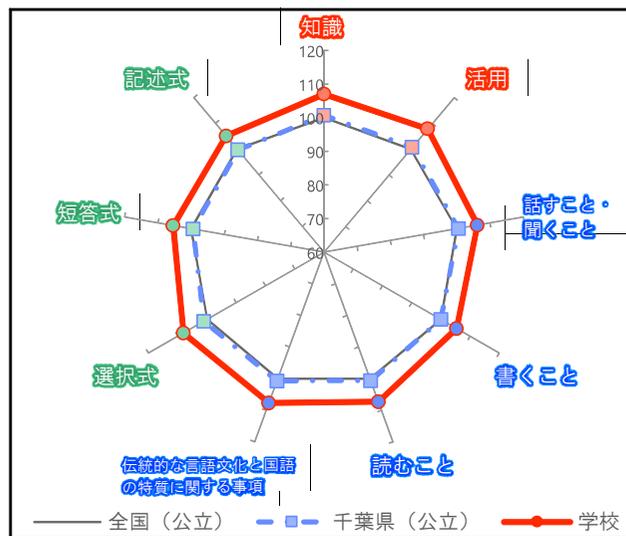
※グラフは全国公立の平均を100とした場合の、千葉県と東部中学校の正答率をグラフで表したものです。グラフ1<国語>・グラフ2<数学>は、出題内容(青字)出題形式(緑字)学習指導要領の領域等(赤字)で示しています。

4月19日に全国学力・学習状況調査が3年生を対象に実施されました。教科に関する調査と生活や学習状況に関する調査です。今年度は、国語・数学の2教科実施で、主として「知識」に関する問題、主として「活用」に関する問題が出題されています。

生活や学習状況に関する調査では、「毎日決まった時刻に寝ていますか。」など、学力と子どもの生活の在り方との相関関係についてとらえようとしています。結果を把握・分析することで現状の課題をつかみ今後役に立てることが目的です。

過去の調査結果から、子どもの学習状況は学力の向上に深くかかわることがわかっています。生活習慣に関わることも、家庭で話題にしながら、よりよい習慣形成を目指していきたいものです。

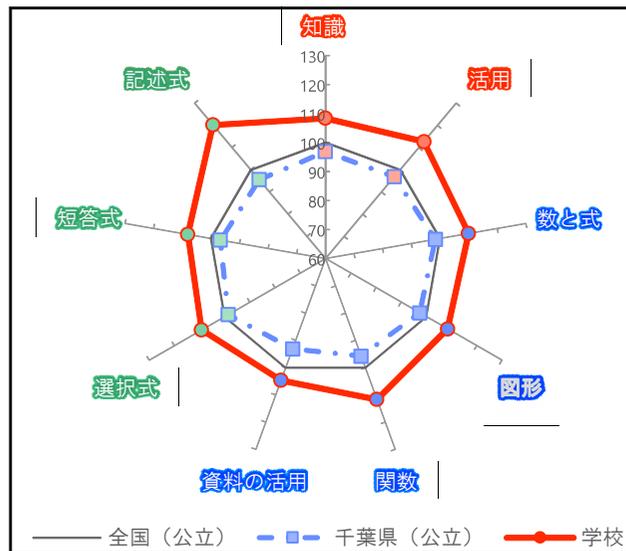
グラフ1<国語>



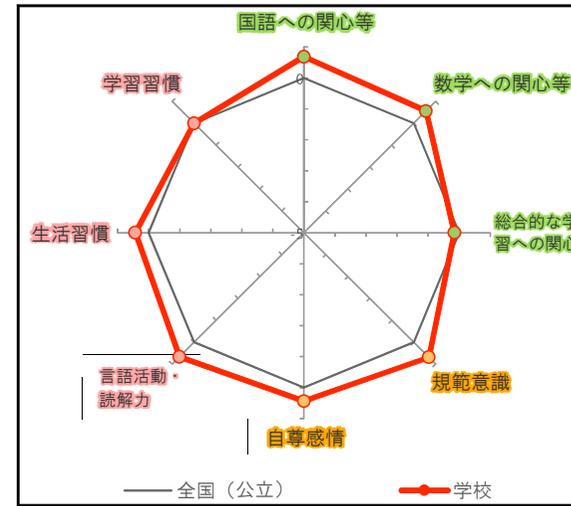
＜学力・学習状況調査の正答率の状況＞
・グラフ1<国語>グラフ2<数学>ともに、すべての項目において、大きく全国・県平均正答率を上回っている。

＜学力と生徒質問紙の相関関係について＞※東部中生の傾向
・学校の宿題を「している」と答えた生徒の方が平均正答率が高い。
・スマートフォン等でゲームや通話やメール、インターネットをする時間が少ないほど、平均正答率が高い。
・ゲームをする時間が少ない生徒ほど、平均正答率が高い。
・平日の寝る時刻が早い生徒ほど、平均正答率が高い。
・友達の前で自分の考えや意見を発表することが簡単だと答えるほど、平均正答率が高い。
・学校に行くのが楽しいと思う生徒の方が、平均正答率が高い。
・先生から示された課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んだと考える生徒の方が、平均正答率が高い。
・授業で扱うノートには、学習目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた生徒の方が、平均正答率が高い。
・学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることが難しいと思っている生徒の方が平均正答率が低い。

グラフ2<数学>



グラフ3<生徒質問紙の結果>

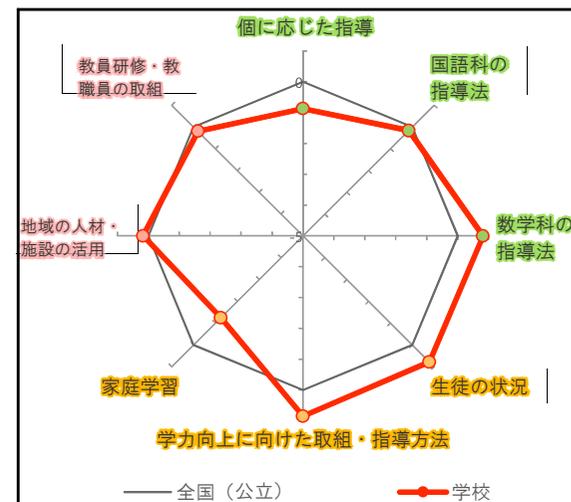


＜東部中生の状況・生徒質問紙から＞
※全国、県との比較から
・自分にはよいところがあると思う生徒が多い。
・友達と話し合うとき、友達の意見を最後まで聞く生徒が多い。
・授業以外に読書をしている生徒の割合が高い。
・スマートフォン等で通話やメール、インターネットをする生徒の割合が高い。
・学校に行くのが楽しいと思っている生徒が多い。
・学級会などの時間に友達同士で話し合っただけで学級のきまりを決めていると考える生徒が多い。
・先生が自分を認めてくれていると思っている生徒が多い。
・学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある生徒が多い。

・友達との約束を守っている生徒が多い。
・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合う活動に取り組んでいると答える生徒が多い。
・生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると考える生徒が多い。
・国語や数学の学習が大切で、将来社会に出てから役立つと考える生徒の割合が高い。

東部中生の生徒質問紙回答内容の中で、全国・県との比較から努力を要するものとして、
・将来の夢や目標をもっている生徒の割合が少ない。
・テレビゲーム(スマートフォン)を使ったゲームを1日4時間以上する生徒の割合が、県や全国の平均と比べて高い。
・地域の行事やボランティア活動に参加したことのある生徒の割合が低い。
ことなどが挙げられます。今後家庭・地域と連携することや教育相談等を通じ、改善していきたいと思えます。キャリア教育の充実を図るとともに、よりよい生活習慣、学習状況が形成されるように努力していきたいと思えます。

グラフ4<学校質問紙の結果>



この調査結果は、前年度(現3年生が2年生のとき)について回答したものです。
グラフ3<生徒質問紙>をみると、東部中生の学習への関心等や学習習慣・生活習慣、言語活動への取組みや規範意識・自尊心は、いずれも全国平均を上回っています。これらは、グラフ4<学校質問紙>の回答にある学力向上に向けた取組・指導方法や各教科の指導方法の工夫の効果が影響しているものと考えます。
グラフ4<学校質問紙>で、全国平均を下回っている点について、今年度は、数学のチームティーチングや習熟度別学習等の個に応じた指導の一層の充実等に努めています。
また、家庭学習については、職員の共通理解のもと、具体的な学習方法を提示して指導していますが、調べたり文章を書いたりする宿題を与えるなど内容についても、さらに検討し、学力向上の取組みを進めていきたいと思えます。